

NPO 法人理科カリキュラムを考える会シンポジウム（6月25日開催）

ICTによって理科教育はどう変わるか —教員の勤務実態を踏まえて

ICT（Information and Communication Technology）は、まだ地域や学校によって差が大きいものの、教育現場にいろいろな形で入ってきています。今回は、タブレット、電子黒板、電子教科書、センサーのデータを記録するデータロガー等の ICT 機器を使った授業や、ウェブを活用した学習環境作りを紹介します。ICT をどのように使えば有効か、日本での実践と韓国、アメリカ、イタリアなどの ICT 教育の動き等を紹介합니다。また文科省から教員勤務実態調査が 4 月に紹介されました。多忙な教員をどのように支援できるかも考えます。

主催 NPO 法人理科カリキュラムを考える会

日時 2017 年 6 月 25 日（日）13 時～17 時

会場 株内田洋行 ユビキタス協創広場 CANVAS 地下 1 階

（東京メトロ日比谷線「八丁堀駅」下車、「A4」出口徒歩 4 分 東京メトロ日比谷線・東西線「茅場町駅」下車、「1 番」出口徒歩 5 分 JR 京葉線「八丁堀駅」下車、「B1」出口徒歩 5 分）

講演 「ICT によって理科教育はどう変わるか—日本、アジア、アメリカの事例から」

小林昭三（新潟大学）

「韓国の学校教育における ICT 事情と、これからの日本の教育インフラ」

吉田賢史（早稲田大学高等学院）

「日本とイタリアの教員の勤務実態と科学教育比較」

Dr. Beniamino Danese（REINVENTORE）

小川慎二郎（早稲田大学高等学院）

「ICT 教育に役立つ機材の紹介」

株内田洋行 他（依頼中）

参加費 無料

事務局連絡先 高橋和光 [science\(at\)sh.rim.or.jp](mailto:science(at)sh.rim.or.jp)